| 学校番号 | 112 |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理・歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 歴史総合　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉える。

## ２　学習の到達目標

（１）歴史とは人間の営みの連続であるということを理解し視点を変えて学ぶ。
（２）現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
（３）世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。<br>・諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けている。 | ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明することができる。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 |
| 評価方法 | 定期考査 | 定期考査<br>レポート課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 | レポート課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 近代化と私たち | 1. 江戸時代の日本と結びつく世界<br>2. 欧米諸国における近代化<br>3. 近代化の進展と国民国家形成<br>4. アジア諸国の動揺と日本の開国<br>5. 近代化が進む日本と東アジア | a:世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。<br>b:近代化の歴史に関して多面的･多角的に考察し、ワークシートなどに表現している。<br>c:近代化の歴史に関わる諸事情について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>レポート<br>課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 | レポート<br>課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 |
| 2学期 | 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 1. 第一次世界大戦と日本の対応<br>2. 国際協調と大衆社会の広がり<br>3. 日本の行方と第二次世界大戦<br>4. 再出発する世界と日本 | a:世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。<br>b: 国際秩序の変化や大衆化に伴い変化したことについて考察し、ワークシートなどに表現している。<br>c: 人々の生活や社会の在り方が国際秩序の変化や大衆化に伴い変化したことについて、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>レポート<br>課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 | レポート<br>課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 |
| 3学期 | グローバル化と私たち | 1．冷戦で揺れる世界と日本<br>2．多極化する世界<br>3．グローバル化のなかの世界と日本 | a:世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わるグローバル化の歴史を理解している。<br>b:現代的な諸課題の形成に関わるグローバル化の歴史を考察し、ワークシートなどに表現している。<br>c: グローバル化の歴史に関わる諸事情について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追求しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>レポート<br>課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 | レポート<br>課題<br>発表・グループワーク<br>学習の振り返り<br>ファイル提出 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度